

空手体験教室をうけて

私たちが普段、生活の場としている板橋第十小学校は校舎の改築工事の影響で、7月の後半より校庭が使用出来なくなりました。その為、板十小あいキッズに参加している子どもたちは工事が終わるまでの長い期間の大部分を室内で過ごすこととなります。

そこで室内でも子どもたちが楽しく過ごせるようにと、職員と子どもたちが協力して工夫をしている中、保護者からの紹介で今回の建武館さんによる空手体験教室が開催されました。

参加した子どもたちの大半が、初めて空手に触れるということで、子どもたちも職員もとても緊張した状態から始まった体験教室でしたが、脱いだ靴下を綺麗に並べることから始め、背筋を伸ばして「押忍」と大きな声で返事をするを繰り返す中で、心の中に一本の芯が通り、その緊張感も心地よく感じられるようになりました。

一時間という限られた時間の中でしたが、空手の基礎の突きや蹴りを体験し、板割りに挑戦し、礼法を学んだ子どもたちの心の中には「失敗を恐れずに挑戦する気持ち。」「他者を思いやる気持ち」がしっかりと芽吹いたように感じます。

子どもたちにとっても、大人にとっても、とても刺激的で貴重な体験をさせて頂きました。

板橋第十小学校あいキッズ 職員 手塚 大介